2 第209回国会概観

(召集・会期)

第209回国会（臨時会）は、7月10日に行われた第26回参議院議員通常選挙を受け、8月3日に召集された。

会期は、召集日の衆参両院本会議において、8月5日までの3日間とする旨議決された。

開会式は、召集日の午後3時から、参議院議場で行われた。

(院の構成)

第26回参議院議員通常選挙等を受け、召集日（8月3日）の本会議開会時点における会派別所属議員数は、自民118、立憲40、公明27、維新21、民主12、共産11、れ新5、碧水2、N党2、沖縄2、各派に属しない議員8（合計248）となった。

召集日の本会議では、議長及び副議長の選挙、常任委員長選挙、7特別委員会（災害対策、ODA沖縄北方、倫理選挙、拉致問題、地方デジタル、消費者問題、震災復興）の設置等が行われた。

議長及び副議長選挙では、無名投票の結果、第33代議長に尾辻秀久君（自民）、第33代副議長に長浜博行君（立憲）が当選した。同日、正副議長は、それぞれ所属会派を退会した。

なお、調査会の設置は行われなかった。

(活動等の概要)

今国会中、新規に提出された法律案等はなかった。また、衆議院で継続審査となっていた法律案等（衆議院議員提出法律案42件、予備費等8件）は、全て、衆議院で継続審査となった。

内閣総理大臣の所信表明演説は行われなかった。

請願は、会期が短いため、受け付けなかった。

会期末の8月5日、本会議で閉会手続が行われた。

(新型コロナウイルス感染症対策)

参議院における新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、本会議や各委員会において、議員同士の間隔を広げて着席する等の対応を行った。

また、参観等については引き続き人数制限や検温の実施等の条件のもとで実施するなど、様々な措置が継続して採られた。